

平成30年度 第1回学校評議員会 議事録

1 日時

平成30年7月19日（木）15:00～16:30

2 会場

視聴覚室

3 出席者

学校評議員 A氏、B氏、C氏、D氏

学校側 校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任、生徒指導主事、  
進路指導主事、保健主事、電子機械科長、建設環境科長、総務部担当

4 進行

副校長

5 記録

総務担当（猿舘）

6 内容

(1) 委嘱状交付および参加者紹介

(2) 校長挨拶

(3) 平成30年度学校運営方針について（学校長）

ア 学校経営計画について

イ 基礎学力向上の取り組みについて

ウ 最近の学校の様子について

(3) 学校概況説明（副校長）

ア 今年度の在籍数とH29年度卒業生の進路について（進学2割、就職8割、  
就職のうち県外6割、管内4割）

イ 求人の状況について

ウ H30年度卒業予定者の進路希望について（県外が6割程度）

エ 資格取得について

オ 授業アンケートについて

カ クラブ活動について

キ 学校評価について

ク 学校通信について

(4) 平成30年度重点目標について（各主任より）

(5) 意見交換

進 行 それでは評議員の方より、本校に対する率直なご意見、ご要望や質問などをいただきたいと思ひます。

A 氏 欠席率が増加しているという説明があつたが、生徒はどのような理由で欠席しているのか？

校 長 中学校で不登校であつた生徒などが、高校入学後も再び不登校になるケースなどが多いようである。

B 氏 様々な生徒に対応するために支援員を配置したとの説明があつた

が、この支援というのはどのような支援のことか、また保育士が不足しているという状況があるが、保育士を希望する生徒はどのくらいいるのか？

校長 支援員による支援とは、様々な障がいを持った生徒に対し、学習や生活上の補助をするということです。今年度に入り、県教委に要望し支援員を配置してもらっています。

進路指導主事 保育士については、昨年度は希望する生徒がいましたが、進路変更をしたようです。過去には保育士を志望し、進学した生徒もおります。

C 氏 小中学校の様子から、カウンセラーの役割が非常に大きいと感じている。高校のカウンセラーはどのような方が来ているのか？

保健主事 久慈管内担当のカウンセラーがおり、その方をお願いしてきてもらっている。

C 氏 小中学校の様子から、コミュニケーション能力の低下を感じている。何らかの方策がないかと思案している。保護者を含めて何らかの取り組みが必要ではないか。

D 氏 就職率について、売り手市場ということで、他者と競わずに就職が可能という状況のようだ。そのため、安易に離職し、その後も早期離職を繰り返すケースが多く見られる。学校の方でも、指導をよろしくお願いしたい。

進路指導主事 就職前、学校で十分指導して卒業させるよう取り組んでいきたい。

C 氏 就職に関して、少し前に聞いたところ管内希望が多いとのことであったが、現在はどのようになっているのか。

進路指導主事 震災以降は管内中心に就職率が上昇していたが、昨年あたりから、県外志望者が増加傾向にあります。今年度は、管内希望者が若干増加傾向のようです。

D 氏 冒頭の説明にあったが、遠方からの志望者が増加しているといっているのは大変よい傾向だと感じています。

校長 岩泉などからの志望者が増加傾向にあります。中学生の選択肢に入るよう今後も努力していきたい。

総務主任 統廃合に関して、今年度は岩泉方面からの生徒が増加したことが志望者数の増加につながったという説明があったが、地元からの志望者がもっと増えてほしいと考えている。地元からみて、工業高校に対するイメージはどうでしょうか？

A 氏 クラブ活動が盛んという印象です。

D 氏 自分たちが入学したころは、入学するのに大変なイメージであった。現在の中学生からすると、自分のやりたいことがないため、安易な進路選択をしているようだ。

D 氏 中学生の進路選択については、クラブ活動なども関係しているのではないか。

進 行 今後も学校運営等について、それぞれ委員の皆様のお力を貸して  
いただきたいと思います。よろしく申し上げます。